

「安全で快適な入院生活を過ごしていただく為に」

病院の環境は、住み慣れた家庭とは異なります。

入院による生活環境の変化、病気や怪我による体力や運動機能の低下から、思いがけない転倒・転落事故が起こることが少なくありません。

特に高齢者は注意が必要です。加齢に伴う認識力や運動能力の低下が加わり、結果として深刻な事態を招く恐れがあります。大変危険な場合には、介護用具を使用させていただくこともあります。

私達の病院では、生活環境を整備しながら転倒・転落の予防に十分注意し、安全で快適な入院生活を送っていただくように致しておりますが、さらに安全性を高めるため、ご家族の協力も欠かせません。御協力お願いいたします。

また、ご家族のご面会は、患者様の励みになると共に、ご自宅と同じような環境作りに大変役立ちます。できるだけ面会に来て下さいますようお願いいたします。

ご心配事などありましたら、遠慮なく看護師や医師にご相談下さい。

チェック

- 初めての入院
- ベッドでの生活は初めて
- 初めてのことに慣れるのに時間がかかる
- 遠慮がちで、人の助けを受けづらい
- 最近転んだことがある
- 暗いと周囲が見えにくい
- 外出をあまりしない
- スリッパやサンダルで滑る、つまずいたことがある
- 寝巻きやパジャマの裾が長い
- 歩行時に手すりや杖、歩行器、カートなどを使っている
- 睡眠剤や安定剤を内服している
- 立ちくらみやめまいを起した事がある
- 手や足の関節の動きが硬い、動かすのに制限がある

チェックのある方は、**転倒、転落の危険性が高くなります。**

特に注意をする必要がありますので、入院生活についてご相談ください。

転倒予防のために

安全な入院生活を送るためのお願い

入院中は自分の足に合った履物をはきましょう。スリッパは危険です。リハビリシューズ、上履きが滑りにくく安全です。



うわばき

リハビリ靴

寝巻き、パジャマの裾が長すぎると、足にまとわりついて危険です。服装を整えましょう。



— 足もとスッキリ —

メガネ、杖、補聴器など普段使用している物はお持ち下さい。歩行が安定しない方は廊下の手すりをご利用下さい。

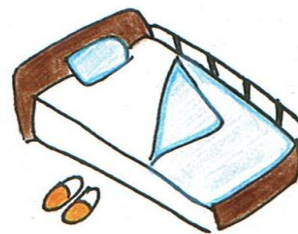


杖

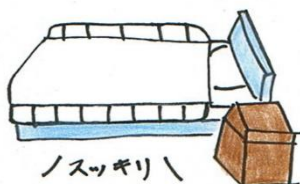
滑りにくい杖を使いましょう

メガネ

普段とベットの乗り降りが逆の方はご相談下さい。



荷物はなるべく引き出しの中に収納し、ベットの周りは物を置かないよう御協力下さい。



ノスッキリ

水をこぼした時、濡れているのを発見した時はお知らせ下さい。



睡眠剤を内服する時は、トイレ洗面など眠る準備を済ませてから内服しましょう。夜間心配な時は看護師を呼んで下さい。



準備 OK!!

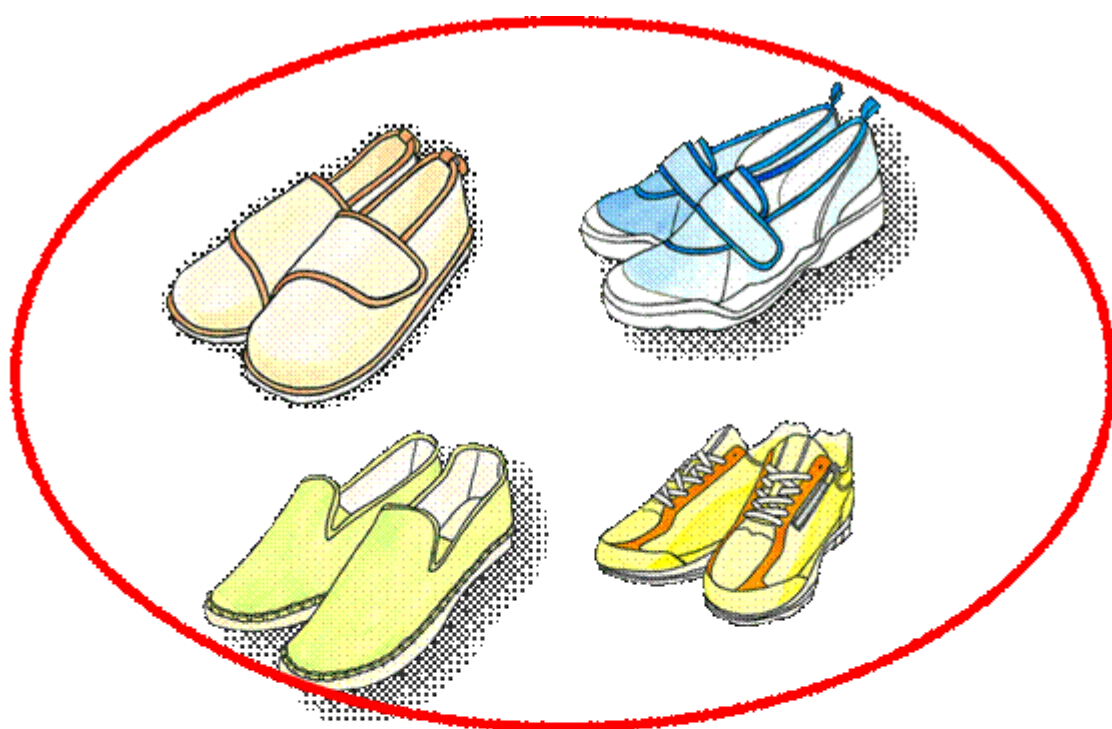
万が一、転倒・転落をしたり、その場面を目撃した時は、すぐにお知らせ下さい。



痛い

リハビリ開始時期や、睡眠剤・痛み止めを使用している、また点滴中の方は、トイレに歩行の際十分注意して下さい。

入院生活の履き物は
“靴タイプ”
のものを選びましょう！



転びにくいかかとを覆うタイプの履き物で安全な入院生活を送りましょう。



スリッパやサンダルなどのように
かかとが覆われていない履き物は
転びやすく危険です！

患者様へのお願い



病院の中にはバイ菌がたくさんいます !!

病気で抵抗力が落ちている時、体内にバイ菌が入ると、感染を起こし、回復が遅れます。

そこで、手に付いたバイ菌が体内に入るのを防ぐことが大切です。

食事の前、トイレの後には、備え付けの石鹸で、必ず手を洗いましょう

石鹸を良く泡立てて **30秒から1分間**洗ってください。



また、各トイレには「**アルコール便座拭きスプレー**」が設置してあります。

トイレットペーパーに吹きつけて

トイレ使用の前と後には、

必ず便座を拭いてください。

せん妄を知っていますか？

～せん妄を予防して安心して入院生活をお過ごしいただくために～

*入院による生活環境の変化や病気によって、お体の調子に変化があると、ストレスで脳が一時的に混乱することがあります。
混乱すると、以下のような症状が起こりやすくなります。

- 時間や場所がわからなくなる
- 見えないものが見える
- 睡眠のリズムが崩れる
- 落ち着きがなくなる
- 話していることのつじつまがあわない

など

このような状態を “せん妄” と言います。

ご家族からみて、いつもと違う様子があればスタッフへお声かけください。

せん妄は認知症とは異なり、原因が良くなれば改善します。





せん妄を予防するために



*入院の時は普段に近い環境で生活できるよう、普段使用している身の回りの品をご準備ください。

• メガネ 

• 入れ歯 

• 補聴器 

• 杖 

• 家族の写真 

• カレンダー 

• 時計 

• 趣味の道具 

• 本 

• ラジオ 

など

薬の種類によってせん妄を起こしやすいことがあります。内服している薬の内容を伺うことがあります。



痛みや不快な症状は我慢せず相談してください。



入院したことがあれば、前回の入院中の様子を教えてください。



日中は部屋を明るくしたり、積極的に体を動かして、活動と睡眠のリズムを整えましょう。



*ご家族との会話は患者さんにとって大きな安心となります。

面会の際はいつも通りの言葉かけをお願いします。

わからない事、困った事があればいつでも

スタッフに相談してください。

